



大石南中学校だより

五弁の花

令和6年度 臨時号「学校評価」

【学校教育目標】

人生の基礎を培い、夢を語り、
向上心と勇気を育てる
- 出合い、ふれあい、学びあい -

校長 大木まみこ
令和7年3月3日発行
電話 048-726-0511

令和6年度大石南中学校の学校評価がまとまりましたので、お知らせします。
ここでは、教職員による今年度の自己評価の結果と、生徒・保護者のアンケート結果から紹介します。別添資料と合わせてご覧ください。なお、評価及びアンケートは7月と12月の2回実施しています。

1 「学校評価」(職員による自己評価)から

【評価できること】 (カッコ内数字は、別添資料と対応した番号です。)

- (2) 「学習指導」
令和6・7年度の上尾市教育委員会委嘱の研究を基盤とし、引き続き学力向上についての研究を進めてまいりました。「埼玉県学力・学習状況調査」においても一定の成果が表れています。
- (3) 「生徒指導・教育相談」
「生徒一人一人を大切にすること」を学校経営の基本としています。チーム体制を大切にしながら、職員や家庭と十分に連携をとって生徒指導や教育相談にあたることであります。また、「石南 LIFE」を基盤とした自律を促す生徒指導を大切に、丁寧な対応を全職員とも心がけています。
- (4) 「サービス・研修」
適切なサービス規律を守る倫理確立委員会や、学力向上に向けた研修を計画的に実施できました。また、特色ある取組みとして、上尾市防災士協議会の皆様のご協力により、「命を守る防災講座」を実施しました。地域の実態に合わせた水害を想定した避難訓練を実施しています。小中一貫教育の一環として、小中の指導内容の精査にも心がけています。
- (5) 「家庭・地域」
授業参観や学校公開、行事の保護者参観などを効果的に行うことができました。また、HP や配信メールを適切かつ効果的に使用することができました。

【課題・次年度に向けて】

- (2) 「学習指導・学力向上」
基礎基本の定着、思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度については引き続き課題がありますので、学力向上への取組について研究を進めていく必要があると捉えています。
- (3) 「生徒指導・教育相談」
部活動の生徒の主体性については、課題として捉えている教員が多いのが現状です。生徒が「やらされている」のではなく、「自分からこう頑張りたい」という気持ちをもてるよう今後も指導を続けていきます。
また、部活動の地域移行については、市内の動向に沿いながら、生徒の活動をよりよいものとなるよう学校としても協力をしていきたいと考えています。

2 生徒アンケートから

【評価できること】

本校の特色である「石南 LIFE」の項目が、96%と高い評価になっています。また、「学校行事への取組」の項目も95%の高い評価となっています。
また、「学校行事にしっかり取り組んでいる」「授業にしっかり取り組んでいる」「いじめや嫌がらせをしていない」という項目が高いことも評価できます。
そして、「先生は、学習や学校生活についてよく相談に乗ってくれる」「先生は、自分たちのことをわかってきている」「先生は、わかりやすい授業をしている」という項目が高いことも少人数のよさを生かした本校ならではの成果として評価できます。

【課題・次年度に向けて】

職員の自己評価と同じく、学習についての評価が低いことが課題です。「家庭学習への取組み」「授業の内容がよくわかる」「提出物を期限を守ってしっかり出している」が昨年度に引き続き低い評価となっています。これは次年度への課題です。

3 保護者アンケートから

【評価できること】

「学校は、学校教育目標をわかりやすく伝えている」「学校は、特色ある教育活動を行っている」「学校は、保護者・地域の願いに応えている」「学校は、家庭への連絡・意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」「学校は、豊かな心を持った子どもを育てようとしている」「学校は、生徒会活動や委員会活動を活発に行っている」「教師は、学習における子どもの能力や努力を適切に評価している」「教師は、子どもをよく理解している」等の項目のポイントが99%以上と高くなっている。

【課題・次年度に向けて】

「子供達は、宿題などの家庭学習をよくやっている。」については、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の割合が約29%でありました。
希望の進路を叶えられるよう、自律した家庭学習を行う大切さを日々生徒にも伝えながら、資格検定試験などへの挑戦も増やしていけるように、日々の授業はもちろんのこと、家庭学習の大切さを引き続き来年度の課題とします。

4 学校関係者評価について

学校関係者評価委員は学校運営協議会委員の皆さまにお願いしました。

【評価されたこと】

- (1) 適切な評価となっている。
- (2) 学力向上への取組みがよい。学年があがるに従い学力の伸びに表れている。
- (3) 生徒評価の「先生はよく相談にのってくれる」等の項目が高いのは素晴らしい。教員の頑張りが数字にも出ている。
- (4) 生徒の明るいあいさつに癒される。また、磨心清掃の取組みはよい。
- (5) 学年があがるごとに、保護者からのパーセンテージが上がっていくのは、「中学校」というところを徐々に保護者も理解し、信頼してくださっているのだと思う。

【次年度への課題】

- (1) 継続して基礎学力や家庭学習の定着をテーマの一つにするとよい。
- (2) 主体的な学習に取り組む態度についての手立てを講じる必要がある。